

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

水稻海外飛来性害虫（ウンカ類）の飛来状況（技術情報第3号）について（送付）

このことについて、梅雨入り（6月4日）からこれまでの水稻飛来性害虫の飛来状況をまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

本年のウンカ類の飛来量は少ない。坪枯れの原因となるトビイロウンカの主飛来は7月14日でしたが、6月下旬にも飛来したと考えられます。トビイロウンカの防除適期は6月23日、7月14日を起点として算出した時期となります。

【飛来および発生状況】

1 トビイロウンカ

- (1) 合志市に設置した予察灯では、6月30日に1頭、7月14日には31頭が誘殺された。6月第1半旬から7月第3半旬の累積誘殺数は35頭（平年67.4頭、前年0頭）で平年に比べ少なかった（表1）。
- (2) 7月上～中旬に実施した早植え及び普通期水稻の巡回調査では発生を確認していないが、合志市に設置した無防除水田（5月19日移植）では、7月15日に若～中齢幼虫（7頭/60株）を確認した。このことから、セジロウンカの飛来が多かった6月21～24日にも飛来があったと考えられる。

2 セジロウンカ

- (1) 予察灯における6月第1半旬から7月第3半旬までの累積誘殺数は、合志市が409頭（平年2394.2頭、前年76頭）、天草市が201頭（平年929.5頭、前年157頭）で、平年に比べ少なかった。
- (2) 7月上～中旬の巡回調査では、株当たり成幼虫数が早期・早植え水稻で5.56頭（平年3.36頭）と平年比やや多、普通期水稻で0.74頭（平年1.36頭）と平年比やや少であった。

【トビイロウンカ防除について】

- ①本年のトビイロウンカの飛来量は平年より少なかった。しかし、九州北部地方1ヶ月予報（福岡管区气象台、7月21日発表）によると8月の気温は高い見込みであることから、トビイロウンカの増殖に好適な条件になると予想され、今後の発生に注意が必要である。
- ②防除適期はウンカ類の飛来及び水田における発生状況から、セジロウンカの飛来が多かった6月23日及びトビイロウンカの主飛来であった7月14日を起点に算出した（表3、図1）。なお、6月中旬までに移植した水稻では6月23日、7月14日のいずれか、または両方を起点とした時期、6月下旬以降に移植した水稻では7月14日を起点とした時期が防除適期と予想される。
- ③トビイロウンカの飛来量及び増殖量は地域やほ場、使用した箱施薬剤の種類で異なる。ほ場を観察し、発生状況（要防除水準：表2）に応じて防除を行う。

※今後の発生状況、防除適期や対策については防除所のホームページ（<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>）に掲載します。

表1 ネットトラップ・予察灯における水稻海外飛来性害虫の誘殺状況

調査日	飛来波(予想)				※ 数日間まとめて調査した場合は、調査日にデータを記入した			
	予察灯(60W 白熱灯)				ネットトラップ			
	天草市		合志市		天草市		合志市	
	セジロウンカ	トビロウンカ	セジロウンカ	トビロウンカ	セジロウンカ	トビロウンカ	セジロウンカ	トビロウンカ
6/1	0	0	0	0			0	0
6/2	0	0	0	0	0	0	0	0
6/3	0	0	0	0			0	0
6/4	5	0	0	0	0	0		
6/5	0	0	0	0			0	0
6/6	0	0	0	0	0	0	0	0
6/7	0	0	0	0			0	0
6/8	0	0	0	0	0	0	0	0
6/9	0	0	0	0			0	0
6/10	0	0	0	0			0	0
6/11	0	0	0	0	0	0		
6/12	0	0	0	0			0	0
6/13	0	0	0	0	0	0		
6/14	0	0	0	0			0	0
6/15	3	0	0	0				
6/16	17	0	1	0			0	0
6/17	0	0	0	0	0	0	12	0
6/18	2	0	0	0				
6/19	6	0	1	0			50	0
6/20	3	0	0	0				
6/21	25	0	12	0	6	0	19	0
6/22	9	0	39	0			30	0
6/23	2	0	43	0	5	0	72	0
6/24	1	0	28	0			23	0
6/25	0	0	3	0	5	0		
6/26	0	0	4	0			51	0
6/27	9	0	8	0				
6/28	36	0	5	0	0	0	0	0
6/29	20	0	24	0			1	0
6/30	2	0	72	1	0	0	1	0
7/1	3	0	34	0			1	0
7/2	5	0	23	0	0	0		
7/3	1	0	4	0			0	0
7/4	2	0	8	0				
7/5	3	0	12	0	0	0	0	0
7/6	1	0	17	0			0	0
7/7	1	0	3	0	0	0	0	0
7/8	0	0	0	0			0	0
7/9	1	0	1	0	0	0		
7/10	5	0	1	0			0	0
7/11	0	0	6	0				
7/12	0	0	1	0	0	0	0	0
7/13	33	0	0	0	0	0	0	0
7/14	4	0	50	31	3	0	0	0
7/15	2	0	9	3	0	0	0	1
計	201	0	409	35	19	0	260	1
平年	929.5	19.7	2394.2	67.4	34.4	0	227.1	1.2

表2 トビロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬～8月上旬	20頭/100株
8月中旬～8月下旬	100頭/100株

表3 予想されるトビイロウンカの防除適期^{注)}
(6月23日飛来)

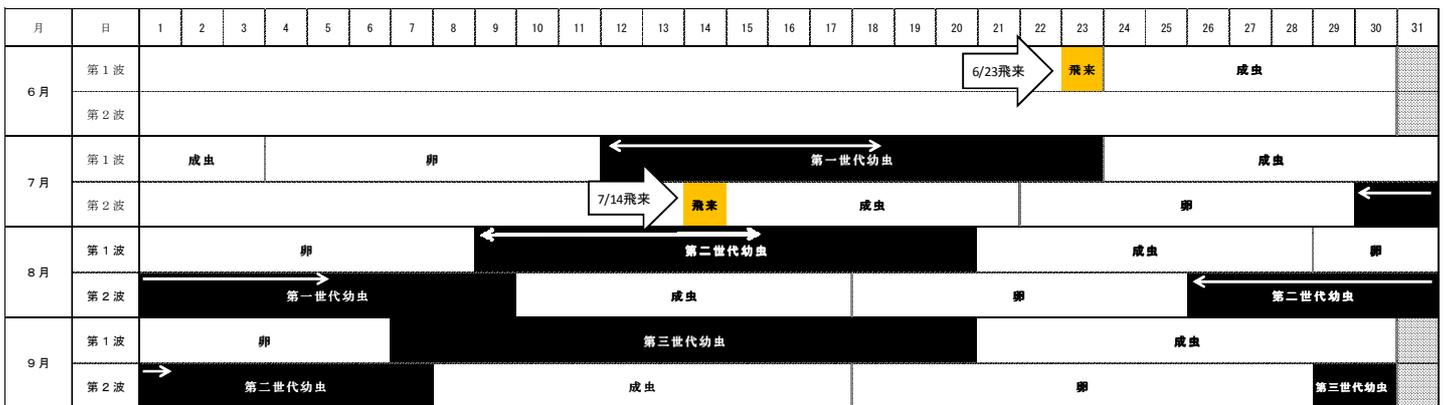
地点	防除適期 ^{注)} (第二世代幼虫)
熊本	8月9～15日
三角	8月9～15日
岱明	8月8～14日
鹿北	8月12～18日
菊池	8月10～16日
阿蘇乙姫	8月20～26日
甲佐	8月10～16日
八代	8月9～15日
水俣	8月9～15日
人吉	8月12～18日
本渡	8月10～16日

注)・6月23日、7月14日を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月18日までは今年データ、7月19日以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。
・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

(7月14日飛来)

地点	防除適期 ^{注)} (第一世代幼虫)	防除適期 ^{注)} (第二世代幼虫)
熊本	7月30～8月5日	8月26～9月1日
三角	7月29～8月4日	8月28～9月3日
岱明	7月29～8月4日	8月27～9月2日
鹿北	7月31～8月6日	8月31～9月6日
菊池	7月30～8月5日	8月29～9月4日
阿蘇乙姫	8月3～9日	9月9～15日
甲佐	7月30～8月5日	8月29～9月4日
八代	7月29～8月4日	8月27～9月2日
水俣	7月29～8月4日	8月28～9月3日
人吉	7月30～8月5日	8月30～9月5日
本渡	7月30～8月5日	8月29～9月4日



注) 防除適期 ←→

図1 トビイロウンカの発生予想ステージ (熊本市のアメダスデータによる予想)

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係)
担当: 加賀山・春山 TEL 096-248-6490